

大阪の子どもを守るネット対策事業実施概要

事業実施内容	実施数等
<p>1. OSAKA スマホサミット 2019 の実施</p> <p>【目的】スマートフォンや携帯ゲーム機など様々なインターネット接続端末が急速に普及してきたことに伴い、青少年がインターネットを通じた犯罪、トラブル、いじめ等に巻き込まれる事例が増加していることや、インターネット等の長時間利用が問題となっていることなどを踏まえ、青少年のネット・リテラシー向上に向けた取組を各学校や地域において実践・定着させることを目的とする。</p>	
<p>1-1. OSAKA スマホアンケート 2019 の実施</p> <p>時期：令和元年 6 月～7 月</p> <p>対象：小学校 1 年生から高校 3 年生まで</p> <p>方法：実行委員会の教育機関を通じて、府内全域にアンケート調査の協力依頼を行ったところ、94 校 21,605 人から回収することができた。集計結果について、兵庫県立大学竹内研究室にて分析を行った。</p>	<p>内訳：小学校 55 校、中学校 34 校、高校 5 校、(小学生 12,140 人、中学生 7,877 人、高校生 1,588 人)</p> <p>※各質問項目での集計可能数とは異なる</p>
<p>1-2. 第 1 回児童・生徒向けワークショップ</p> <p>日時：令和元年 6 月 16 日（日曜日）9 時 30 分から 12 時 30 分</p> <p>会場：大阪市立苗代小学校</p> <p>内容：スマホの良いところと悪いところについて意見を出し合い、班ごとに発表した。各班の意見を聞いた上で、スマホサミット当日発表する模擬授業のテーマを「危険」、「依存」、「人間関係」に決定するとともに、次回ワークショップまでの宿題について共有した。</p>	<p>参加小中高校生 13 校 29 名</p>
<p>1-3. 第 2 回児童・生徒向けワークショップ</p> <p>日時：令和元年 8 月 4 日（日曜日）9 時 30 分から 12 時 30 分</p> <p>会場：大阪市立阿倍野中学校</p> <p>内容：今年度のスマホアンケートの調査から見えてきた傾向について説明を受けた後、第 1 回ワークショップで取りまとめた結果を基にそれぞれ役割分担し、撮影や作業を行った。動画撮影班は、本番の模擬授業のためのシナリオを作成し、「危険」、「依存」、「人間関係」の 3 つの班に分かれて動画を撮影した。スタンプ絵作成班は、相手には直接伝えにくいことを表現するための SNS スタンプを作成した。</p>	<p>参加小中高校生 14 校 30 名</p>
<p>1-4. 第 1 回保護者向けワークショップ</p> <p>日時：令和元年 4 月 26 日（金曜日）19 時から 21 時</p> <p>会場：グランフロント大阪</p> <p>内容：子どものスマホ所持等に係る課題の共有し、今後の保護者ワークショップの方向性について協議した。</p>	<p>参加保護者 4 名</p>
<p>1-5. 第 2 回保護者向けワークショップ</p> <p>日時：令和元年 7 月 19 日（金曜日）19 時から 21 時</p> <p>会場：阿倍野区民センター</p> <p>内容：小中高生のスマホ等の利用状況や実態について、過去のアンケート結果をもとに協議した。</p>	<p>参加保護者 17 名</p>
<p>1-6. 第 3 回保護者向けワークショップ</p> <p>日時：令和元年 10 月 18 日（金曜日）19 時から 21 時</p> <p>会場：阿倍野区民センター</p> <p>内容：大人が子どもたちにできることを議題にグループに分かれて討論を行い、まとめた意見を発表し、その対応について深めた。</p>	<p>参加保護者 17 名</p>

事業実施内容	実施数等
<p>1-7. OSAKA スマホサミット 2019 日時：令和元年12月1日（日）13時から16時30分 場所：大阪市立こども文化センター ホール 内容：第一部では児童・生徒向けワークショップに参加の小中高校生が独自に取り組んできた成果（動画、SNSスタンプ）を発表した。また適切なネット利用対策実践事例プレゼンコンクールにおいては、応募のあった5校から各学校での実践事例を発表した。 第二部では小中高生と保護者がパネルディスカッションを行い、スマホやネットの使い方について本音で語り合い、子どもと大人が一緒に考えていく事を会場全体で確認した。</p>	<p>●総来場者約300名（教職員、青少年、保護者、青少年指導者等） ●サミットで発表等を行った児童・生徒13校36名</p>
<p>2. スマホ安全出張講座（講師派遣事業）の実施 時期：令和元年6月から令和2年1月 対象：児童・生徒、教職員、PTA・保護者、青少年指導者等 講師：【大人向けメニュー】 ○NTTドコモ「スマホ・ケータイ安全教室」 ○KDDI「スマホ・ケータイ安全教室」 ○J:COM「J:COM あんしんネット教室」（現名称「ZAQ 安心ネット教室 by J:COM」） ○デジタルアーツ(株):最新のネットトラブルへのフィルタリング活用法 ○LINE(株):インターネットのトラブルの「要因となる行動」、それらに対応した対策について ○グリー(株):「正しく怖がるインターネット 事例に学ぶ情報モラル」 【児童・生徒向けメニュー】 ○大阪府警サイバー防犯ボランティアに登録している大学生講師 内容：研修メニュー（青少年のスマホ利用に伴うトラブル事例とその回避策等）の申し込みのあったものに対し、講師を派遣した。 時間：各メニュー約1時間</p>	<p>●実施回数：91回 ●受講者：約8800人 ●場所：いずれも申込み校・団体が用意</p>
<p>3. 事業の普及・啓発（報告書&事例教材集の作成・ホームページ等掲載） 時期：令和2年2月から3月 配付先：府内全ての小中学校、高校、支援学校、PTA団体、警察署、市町村青少年主管課等 趣旨：府内の各学校や地域においてネットリテラシーを高める取組を普及・定着させることを目的に、産学官連携により取り組んだ本事業の報告と併せて、教材や先進的な実践事例等について報告書にとりまとめ、配付するとともに、ホームページ等に掲載した。</p>	<p>●3000部作成</p>
<p>4-1. 第1回大阪の子どもを守るネット対策事業実行委員会 日時：令和元年5月20日（月）15時から17時 場所：大阪府社会福祉会館 会議室505 内容：大阪の子どもを守るネット対策事業の事業計画と役割分担について議論し、今後の事業運営の方向性を決定した。</p>	<p>●出席者24名</p>
<p>4-2. 第2回大阪の子どもを守るネット対策事業実行委員会 日時：令和2年1月27日（月）午後2時から4時 場所：大阪赤十字会館 401会議室 内容：大阪の子どもを守るネット対策事業の事業報告と総括及び今後の課題について議論した。</p>	<p>●出席者24名</p>

1. OSAKAスマホサミット2019の開催

大阪府では、スマートフォンや携帯ゲーム機など多機能なインターネット接続端末の普及に伴い、青少年がインターネットを通じた犯罪、トラブル、いじめ等に巻き込まれないよう、また、適切にインターネットを活用できるよう、ネットリテラシー向上に向けた取組を充実させる契機とするため、平成26年度からOSAKAスマホサミットを開催しています。

6回目となる今回は、第一部では、府内の小中高校生約30名が、6月から2回のワークショップを通してスマートフォン等の適切な使い方について考え、独自に取り組んできた成果を発表しました。「危険」、「依存」、「人間関係」の3つのテーマに分けてスマホの適切な使い方を啓発する模擬授業の実施や、言葉では伝えにくい気持ちを表すスタンプの作成など、子ども達の考えがよく伝わってくる発表ばかりでした。

また、ワークショップでの取組とは別に各学校や団体で行っている実践事例を募集した「適切なネット利用対策実践事例プレゼンコンクール」では優秀事例となった小中高校生部門の5校が発表し、第二部では小中高校生と保護者がパネルディスカッションを行い、スマホやネットについて本音で語り合い、子どもと大人と一緒に考えていく事を会場全体で確認した。

日 時：令和元年12月1日（日曜日）13時から16時30分

会 場：大阪市立こども文化センター ホール

総来場者数：約300名（教職員、PTA等保護者、小中高校生、青少年指導者等）

【OSAKA スマホサミット2019メンバー】府内14校

大阪府立四條畷高等学校、大阪府立野崎高等学校、大阪府立守口東高等学校、大阪学園大阪高等学校、関西学院千里国際高等部、泉佐野市立新池中学校、大阪市立田島中学校、大阪市立南港南中学校、大阪市立東中学校、大阪市立真住中学校、大阪狭山市立第三中学校、寝屋川市立第六中学校、寝屋川市立第八中学校、大阪市立九条南小学校

【実践事例プレゼンコンクール参加校】

〈小中高校生部門(5校)〉

大阪府立野崎高等学校生徒会、大阪学園大阪高等学校、大阪市立田島中学校生徒会執行部、大阪市立堀江中学校、大阪市立九条南小学校


〈社会人部門(1校)〉

大阪府立夕陽丘高等学校 情報科

【コーディネーター・学生サポーター】

コーディネーター：竹内 和雄 兵庫県立大学准教授

学生サポーター：一般社団法人ソーシャルメディア研究会

OSAKAスマホサミット2019までの道のり 

OSAKA スマホアンケート2019の実施





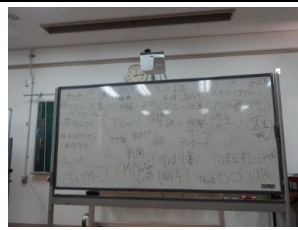
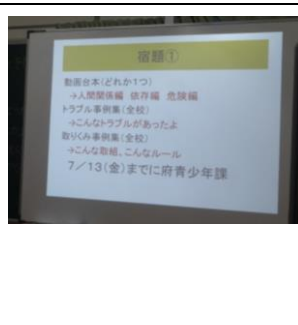

「OSAKAスマホアンケート2019」への協力について、大阪の子どもを守るネット対策事業実行委員会が学校等に呼びかけ、たくさんの方から回答を得ることができました。

スマホアンケート項目は16ページに、アンケート結果の速報値による当日のスライドは8ページから、単純集計結果は17ページから掲載しています。

OSAKA スマホサミット 2019 第1回ワークショップまとめ

令和元年6月16日 9時30分～12時30分

大阪市立苗代小学校多目的室

<p>1. アイスブレイクと班分け【9時30分～】</p> <p>ワークショップ初日。大学生のお兄さん、お姉さんが考えてくれたアイスブレイクをして初対面の児童・生徒の緊張をほぐしました。</p> <p>その後、班分けを行いました。</p>	
<p>2. スマホやネットの良い点・悪い点の共有【10時10分～】</p> <p>付箋を使って、それぞれの児童・生徒が思うスマホの良いところや悪いところを出しあい、模造紙が付箋でいっぱいになるくらい出していました。</p>	
<p>3. グループ分け、タイトル・班名の決定【10時30分～】</p> <p>2で出したスマホやネットの良い点、悪い点をグループ分けしました。また、タイトルや班名も決めました。</p> <p>(例「知らない人」、「LINE」、「調べもの」等)</p>	
<p>4. 発表【11時05分～】</p> <p>3でまとめた模造紙を使って各班で発表を行いました！</p> <p>5. 投票と結果発表【11時40分～】</p> <p>各班の発表を聞いて良かったと思う班に投票しました。結果はどの班も素晴らしい発表で接戦でした。</p>	
<p>6. 発表をもとに児童・生徒への伝え方を検討【11時50分～】</p> <p>スマホやネットの利用について考え、発表した結果をどのように児童・生徒に伝えるかを考えました。</p>	
<p>7. 次回までにすることの決定【12時20分～】</p> <p>6で出した案から、次回のワークショップに向けてやっておくことをまとめました。</p> <p>①キャラクターを作ってみる（もずやん使ったりしてもOK）</p> <p>②各学校内であったトラブル事例とその対策をまとめる。</p> <p>③動画の台本作り（人間関係編、依存編、危険編の3つからやりたいことを選ぶ）</p>	
<p>8. 本日の感想【12時25分～】</p> <p>ワークショップを見てくれていた先生方や参加した児童・生徒の皆さんの感想を発表してもらいました！</p>	

OSAKA スマホサミット 2019 第2回ワークショップまとめ

令和元年 8月4日 9時30分～12時30分

大阪市立阿倍野中学校多目的室他教室

<p>1. アイスブレイクと班分け【9時30分～】</p> <p>大学生のお兄さん、お姉さんが考えてくれたアイスブレイクをして緊張をほぐしました。その後、班分けをしました。</p>	
<p>2. 小・中・高校生のスマホやネットの利用実態の共有【9時40分～】</p> <p>本年度のスマホアンケート調査から見てきた小・中・高校生のスマホやネットの利用状況や実態について竹内先生から講義を受けました。</p>	
<p>3. 動画シナリオ作成・スタンプ絵作成開始【10時00分～】</p> <p>動画撮影班は「危険」、「依存」、「人間関係」の3つの班に分かれて動画シナリオを作成しました！</p> <p>スタンプ絵作成班はメッセージアプリ等で自分たちが相手には直接伝えるにくいことを表現するためのSNSスタンプを考え、作成しました！</p>	
<p>4. 動画撮影の開始！</p> <p>3で作成した動画シナリオにより小道具作成や動画の作成を行いました！</p>	
<p>5. 本日の振り返りと撮影した動画の試写【11時40分～】</p> <p>当日の活動について、皆で振り返りを行うとともに、撮影した動画を試写しました！</p> <p>参加された児童・生徒・先生の皆さんから当日の感想を発表していただきました。</p> <p>1日で動画の撮影を無事終わることができ、有意義なワークショップになりました。</p>	

OSAKA スマホサミット 2019 直前ワークショップまとめ

令和元年 12月1日 9時30分～12時30分

クレオ大阪西 研修室・会議室

6月から議論を深めてきた集大成として、スマホサミットで発表する役割分担を行い、司会及びスタンプ発表・アンケート結果の発表・模擬授業発表・パネルディスカッション等の役割に分かれリハーサルを行いました。



【司会担当の段取り打ち合わせ】



【発表内容打ち合わせ】



【会場内でリハーサル】

OSAKA スマホサミット 2019 本番まとめ

令和元年 12月1日 13時00分～16時30分

大阪市立こども文化センター ホール

■開 会

- ・主催者事務局挨拶（大阪府 青少年・地域安全室長 井上 智宏）
- ・来賓ご挨拶（総務省近畿総合通信局情報通信部電気通信事業課 上席企画監理官 伊藤 賢治様）



【主催者事務局あいさつ】



【来賓ごあいさつ】

■第一部

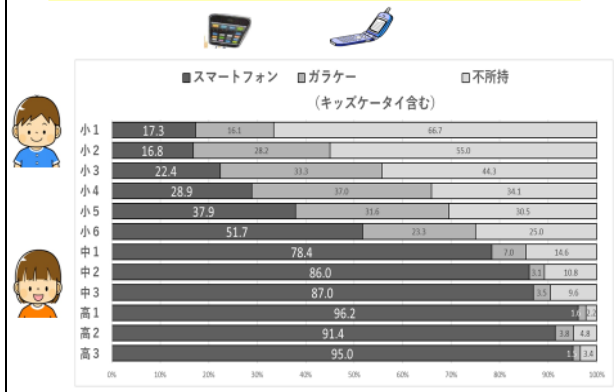
◆約2万人の府内小中高校生に聞いた「OSAKA スマホアンケート 2019」集計結果発表

サミットメンバーの代表が、府内約2万人の小中高校生からスマホの利用実態について聞いたアンケート結果をスクリーンで映しながら、説明しました。

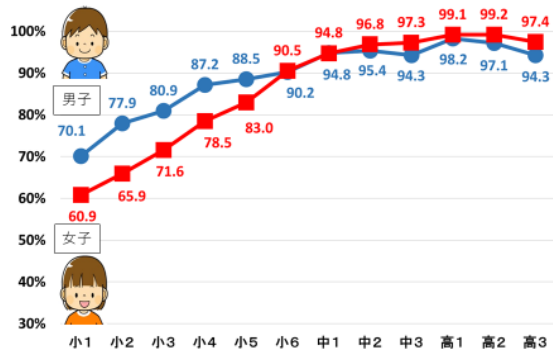
OSAKA スマホサミット2019アンケート（小1～高3）

	男子	女子	合計
小学生	5936人	5549人	11485人
中学生	3341人	3522人	6863人
高校生	628人	873人	1501人
合計	9904人	9944人	19849人

携帯電話所持率%



ふだんインターネットに接続している%



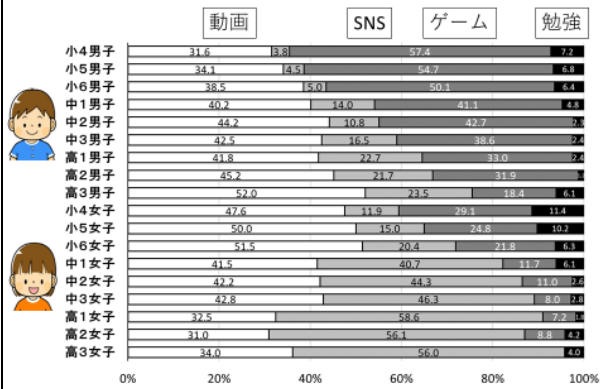
一番ネット接続する機器

小1	ゲーム機	小1	タブレット
小2	ゲーム機	小2	タブレット
小3	ゲーム機	小3	スマホ
小4	ゲーム機	小4	スマホ
小5	ゲーム機	小5	スマホ
小6	ゲーム機	小6	スマホ
中1	スマホ	中1	スマホ
中2	スマホ	中2	スマホ
中3	スマホ	中3	スマホ
高1	スマホ	高1	スマホ
高2	スマホ	高2	スマホ
高3	スマホ	高3	スマホ

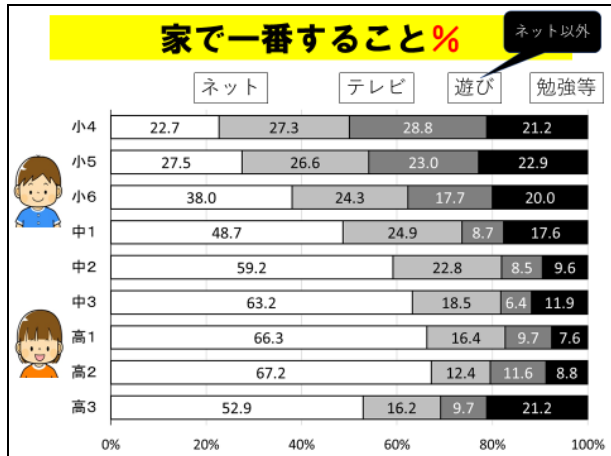
【サミットメンバーからの感想】

小学生の間で男子が多かったのはゲームでインターネットにつないでいるからだと感じた。
小学校6年生でLINE等の使用が増えて男女が逆転していると考えられる。

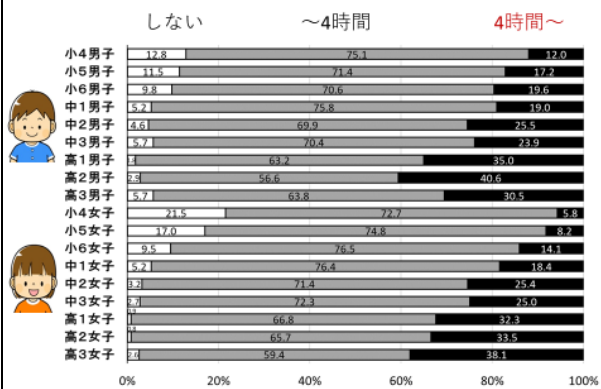
ネットで一番すること%



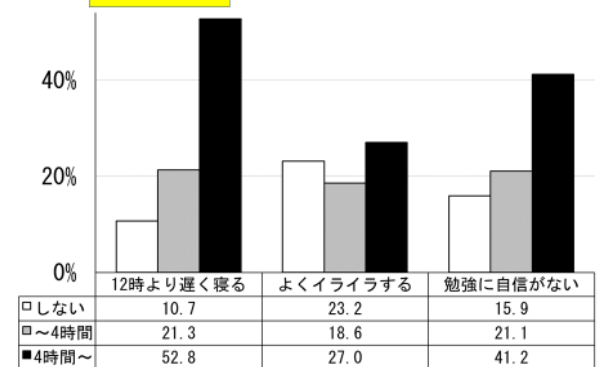
家で一番すること%

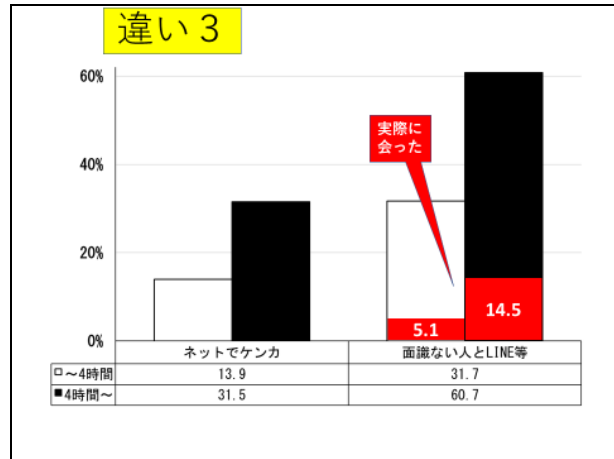
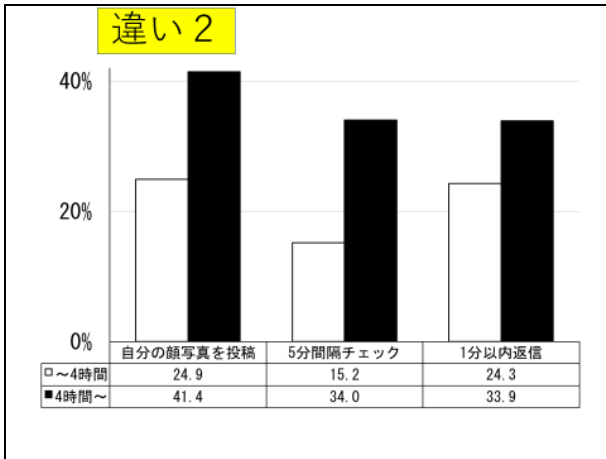


ネット接続時間%



違い1



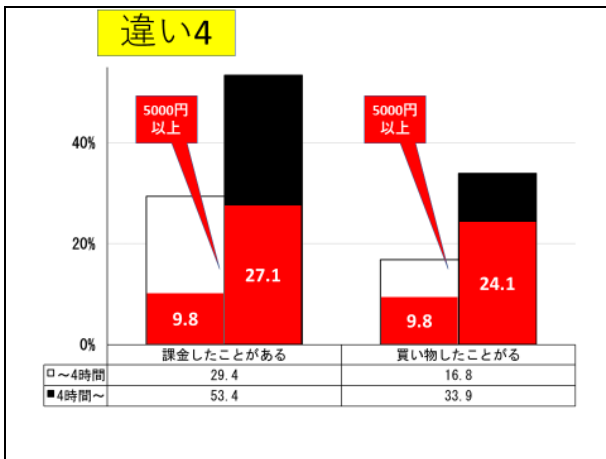


【サミットメンバーからの感想】

ネットをしている時間が長くなると 12 時より遅く寝ることになり、よくイライラしたり、勉強ができていないから、自信がなくなっているのではないかと考えました。

ネットは文字だけだから勘違いでけんかになってしまう。顔が見えていないからつきつuitいことを言ってしまうと思いました。

また事件に巻き込まれているニュースもあるのでもっとみんなで話し合いたいと思いました。



- ### 4 時間以上は
- 遅く寝る
 - イライラする
 - 勉強に自信が無い
 - すぐチェックする
 - すぐ返信する
 - 課金している
 - ネットで買い物する
 - 顔写真を投稿している
 - ネット上でケンカ
 - 面識ない人とLINE等
 - 実際に会う

【サミットメンバーからの感想】

ネットでお金を使うのは当たり前になってキャッシュレス利用も当たり前になっているので、お金の使い方を考えないといけないと思いました。

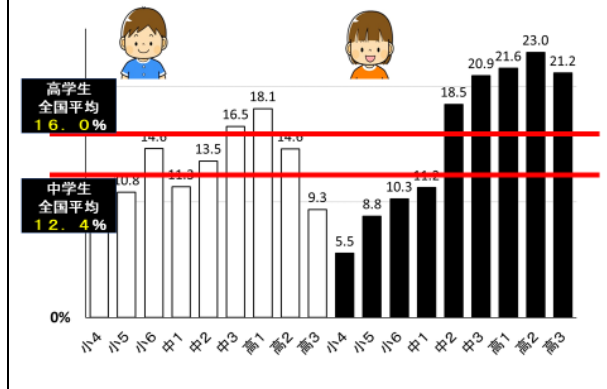
- ### ネット依存？
- ① ネットに夢中と感じる
 - ② 満足のため使用時間をもっと長時間したい
 - ③ 中止を試みたがうまくいかないことがたびたび
 - ④ 時間を短くしようとするといライラする
 - ⑤ 考えていたより長く続けてしまう
 - ⑥ ネットで人間関係を台無しにしたことがある
 - ⑦ 熱中を隠すため家族や先生に嘘をついたことが
 - ⑧ 絶望、不安から逃げるためにネットを使う

- ### ネット依存？
- ① ネットに夢中と感じる
 - ② 満足のため使用時間をもっと長時間したい
 - ③ 中止を試みたがうまくいかないことがたびたび
 - ④ 時間を短くしようとするといライラする
 - ⑤ 考えていたより長く続けてしまう
 - ⑥ ネットで人間関係を台無しにしたことがある
 - ⑦ 熱中を隠すため家族や先生に嘘をついたことが
 - ⑧ 絶望、不安から逃げるためにネットを使う
- 3 ~ 4 個 危険
- 5 ~ 8 個 依存？

ネット依存全国調査

	中学	高校
2012年	6.0%	9.4%
2018年	12.4%	16.0%

ネット依存傾向あり%



【サミットメンバーからの感想】

全国平均を上回っているところも多く、私たちもネットの使い方を考え直さなければいけないと思いました。

私は6年前に小学生だったが2012年と2018年の数字を見たときに6年間でこんなに変わるのかと感じた。自分と今の小学生とでもこの6年間でジェネレーションギャップを感じる世代になったので、もっと小学生には中学生や、中学生には高校生が等、近い世代の人が教えていくことが大切になってくるのではないかと感じました。

◆ワークショップの成果発表

①ワークショップの参加メンバーが考えた、メッセージアプリでのコミュニケーションを円滑にするためのSNSスタンプを発表しました。



【発表の様子】

②ワークショップの参加メンバーがスマートフォン等の適切な使い方について考え、それをより多くの子どもや保護者に伝えるために、模擬授業を実施することを決めました。当日までにシナリオ作成や動画の撮影を行い、「危険」「依存」「人間関係」の3つのテーマで模擬授業を行いました。

模擬授業1 テーマ「危険」



【動画概要】

動画を撮影しインターネット上に投稿すると、高評価になりうれしかったが、背景や制服から住んでいる地域や学校等を特定されてしまった。怖くなり動画は消したが、消したはずの動画が違うサイトにもアップされていた。

<どこに気を付けるべきだったか>

・会場の意見

直ぐに消せば大丈夫だと思っても拡散して消すことが出来なくなることもあるので、安易な気持ちでアップしてはいけないと思った。

動画の背景など些細なことで色々な情報が伝わってしまうことが分かりました。

模擬授業2 テーマ「依存」



模擬授業3 テーマ「人間関係」



【動画概要】

友達に誘われゲームにはまってしまい、両親の言うことを聞かず、勉強やご飯よりもゲームを優先するようになってしまった。

<どこに気を付けるべきだったか>

・会場の意見

ゲームではなくても他のアプリなどにはまってしまうこともあり、ルールを作ることが必要だと思った。

家族間でもコミュニケーションが少なくなるので、ルールを作ってゲームをやることが必要だと感じました。

【動画概要】

アプリでの「かわいくない?」の「?」を付け忘れて「かわいくない」といわれたと勘違いしてしまったり、許すつもりで「もういいよ」とメッセージを送ったつもりが、相手にはまだ怒っているという形で伝わっていた。

<どこに気を付けるべきだったか>

・会場の意見

SNSでは短い文でも送ることができ、「?」や一文字付け忘れるだけで意味が違ってくるので気を付けて送らないといけないと感じました。

◆「適切なネット利用対策実践事例プレゼンコンクール」

青少年のネットリテラシーを高める取組の普及・定着を目的に、各学校において青少年の適切なネット利用対策を実践している事例を募集し、小中高校生部門の優秀賞5校（高校生2校、中学生2校、小学生1校）に、自校の取組を発表してもらいました。

各校の取組は、社会人部門優秀賞の大阪府立夕陽丘高等学校の取組事例も併せて、本冊子（38ページ～）に実践事例集として掲載しています。

～小中高校生部門～

【最優秀賞】大阪府立野崎高等学校生徒会
「野崎高校生が先生に！！「スマホの使い方教えちゃいます大作戦！！」



【発表の様子】

【優秀賞】学校法人大阪学園大阪高等学校
「高校生が“実際に”感じているスマホに関するトラブルとは何か校内アンケート、校内ポスター」



【発表の様子】

【優秀賞】大阪市立田島中学校生徒会執行部
「田島中スマホサミット&スマホ啓発活動」



【発表の様子】

【優秀賞】大阪市立堀江中学校
「情報機器と私たちの日常生活」



【発表の様子】

【優秀賞】大阪市立九条南小学校
「めざせ！スマホマイスター！」



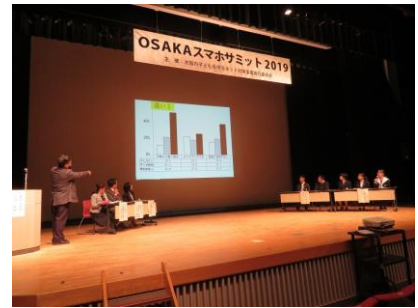
【発表の様子】



■第二部

◆パネルディスカッション（参加児童・生徒5名、保護者3名）

ワークショップの参加児童・生徒の代表者5名と保護者向けワークショップに参加の保護者3名が登壇し、竹内座長のコーディネートのもと、OSAKA スマホアンケート 2019の結果を見ながら、最近のスマホの利用実態に更に踏み込んだパネルディスカッションを行いました。



■トークセッションを終えるに際して

＜保護者パネラーの感想（一部抜粋）＞

- ・ネットは生活と切り離すことはできないし、SNSを通じた友達から助けられることもあると思うので使うことに否定はしていません。私は子どもが話しかけて来たときは手を止めて話を聞くようにしていて、SNSを通して出会った友達のことも教えてもらったりしています。子どもが必要としてきたときにしっかりと応えること、そこは親が気を付けなければいけないことかなと思います。
- ・私たちは正解を教えることはできませんが、より良い正解を導くことができるように育ってほしいと思って色々な取組みをしています。有限な青春時代を皆さんが自分の頭で考えてより良い正解を導き出せるように時間を使ってほしいと思います。
- ・学生さんたちの意見が素晴らしくて私もとても勉強になりました。子どもに対する姿勢を考え直さなければいけないと感じました。親世代も勉強することが大事だと感じ反省しました。



パネラー：保護者

＜サミットメンバーパネラーの感想（一部抜粋）＞

- ・自分たちが思っている以上に親も自分たちの事を考えてくれて、知ろうとしてくれていることがわかったです。自分も親と一緒に勉強していったらいいのかなと思いました。
- ・今日のディスカッションで、大人と子どもで壁があるのかなと感じました。今日ここにいらしゃった方もここで学んだことを友達や家族に広めてもらうことで、ここでやったことの意味が大きくなると思いました。
- ・親にいろいろ注意されることを聞き流すのではなくて、素直に聞き入れてこれからの生活に取り入れたいと思いました。また今日学んだことをお父さん、お母さんにも伝えたいと思いました。
- ・自分自身が結構依存の傾向にあるのかなと気づきました。このように自分は依存ではないと信じている人に限って依存している人も多いのではないかと思ったので、今日学んだことを自分の学校や友達に広めていけたらと思います。
- ・最初の方はもっと制限してほしいとか授業してほしいとか大人の方をお願いばかりしていましたが、使用する本人が、自分たちで考える頭を持つという重要性に気づきました。そういうことを養うために、また大人の方に頼ることになりますが、授業などをやっていただいで、今後自分たちで考えながらSNSを使っていく重要性がわかりました。



パネラー：サミットメンバー代表

■表彰式・閉会

第一部で発表した「模擬授業」と「適切なネット利用対策実践事例プレゼンコンクール」の表彰式を行いました。

「模擬授業」では危険チーム、「適切なネット利用対策実践事例プレゼンコンクール」では大阪府立野崎高等学校生徒会が来場者投票の結果最優秀賞に選ばれ壇上で表彰されました。



<会場の大人から>

- ・ネットへの接続の範囲が広がってきていて、インターネットへの接続が日常に溶け込んでいて何が良く何が悪いのかを大人も一緒に勉強していかないといけないと思いました。
- ・学校現場で色々な問題が起きているが大人と子どもと一緒に話をすることが重要なことだと再認識できました。そして今日参加の児童・生徒の方が大阪の各学校にいらっしゃるといふことと来場された方も強い意識を持っているということがわかりました。ここから発信できることがあるということ強く認識しました。
- ・驚いたのはテレビをみないということ、時代が変わっているということが分かった。本日のフォーラムは大変参考になりました。



<サミットメンバーから>

- ・スマホの事だけでこんなにも勉強させていただいて良かったです。ありがとうございました。
- ・今日はたくさんの人に来ていただいてありがとうございました。沢山のスマホやケータイの事を知ってもらったと思いますが、自分の心の中だけでなく、周りや家族の方に広めていただけるとスマホで危険な目に遭う人が減っていくと思うので、ぜひ知ったことを広めていただけたら嬉しいです。
- ・本日はこのような場でお話などさせていただいてありがとうございました。今日のスマホサミットってすごく大きい行事で、たくさんの方が集まって、色々な世代の人と話すことによって皆さんや私の中でもスマホへの認識がすごく変わったと感じています。これを、このままで終わらせるのではなくもっと大きく展開していってもっと有意義なものにこれからしていけるのではないかと思います。今日のスマホサミットはこれで終わりますけど、今日話したことなどはこれからも続けていけたらと思いました。

■竹内座長のまとめ ～子どもと一緒に大人も考えましょう～

司会の子と話していると「先生すごかったね」といってくれて、何がすごかったっていうと、普通こういう場は、大人が子どもに圧倒されて終わるが、今回大人も自分の意見をちゃんと言ってくれたと、「30分で終わらなあかん」とかね。私はそれが大事だと思います。大人だけが言うのでもなく、子どもだけが言うのでもなく、みんなで考えながら一つの方向を目指したということが重要です。答えは残念ながら何も出ていません。だけどみなさんが先程いったようにどういふ社会をつくっていくかということを考えることが大事です。子どもたちの答えは大人がもっと聞いてほしいということだと思います。ですので我々大人はその声にちゃんと耳を傾けていかなければいけないと思います。